

令和5年度 障がいをお持ちの方の人材育成メニュー



障がいをお持ちの方の人材育成メニューとは？

企業で働く障がいをお持ちの方と企業の皆さまに対し、ご本人のモチベーションに働きかけたり、社内の人材育成を考えていただく機会として、研修・グループワーク・交流会を行っております。今年度は、年4回の研修会・毎月第3土曜日の交流会を通し、職場定着に繋がるような取り組みを進めています。

8月29日に第2回在職者研修会『企業担当者と学ぶ！コミュニケーション研修』が終了しました！

第2回目の在職者研修会では、テーマに関心のある在職者の方とその方に関わる企業担当者を対象に、障がい特性からくるコミュニケーションの偏りとその対応方法から派生し、お互いに気持ちよく働けるための方法を考えることを目的に研修を行いました。今回は在職者14名、企業担当者10名の皆さまにご参加いただきました。また、伊賀圏域障がい者就業・生活支援センタージョブサポートハコ様より、当センターの在職者研修会を視察したいとのご希望をいただき、オブザーバーとしてzoomでご参加いただきました。



“会社の代表として参加している意識を持つこと・他社の参加者との交流を持つきっかけ作り”を目的に名刺交換の時間を設けています。今回は企業担当者の方とペアで参加いただいたこともあり、研修開始前や休憩中に前回よりも活発に名刺交換されていました。「〇人と名刺交換できた」「緊張したができた」「用意した名刺が全部無くなった」という声から参加者から聞かれました。

🎧 講話 🎧 まず、当センタースタッフより「職場でのよいコミュニケーションのために」をテーマにした講話を行い、“お互いがどんなことに困っているかを知る”“困りごとの背景には障がい特性による物事の受け取り方が影響していること”“行動の理由を考え、一緒に対応策を考えていくこと”をポイントとして学んでいきました。



📄 チェックシート 📄 一緒に対応策を考えるための一つの手段として、お互いの評価をすり合わせる方法を挙げ、チェックシートを活用し記載していただきました。個人ワークで在職者は日頃の働いている自分を客観的に、企業担当者の方はその在職者について評価し、ペアワークで在職者と企業担当者の評価のすり合わせを行いました。評価にずれがない方・自己評価が低い方・企業担当者による評価が低い方など参加者によって様々でしたが、マイナスな感情よりも、新たな発見や気づきになったと捉える方が多かったようです。

🎯 グループワーク 🎯 講話とチェックシートを基に、在職者・企業担当者に分かれてグループワークを行いました。在職者グループでは、「職場で困っていること」や「こんな対策をしている」などの意見をお互いに出し合っていました。また企業担当者グループでは、日頃在職者と関わっていて感じる率直な悩みを出し、共感し合うような場になりました。グループで話す内容に違いはありますが、今後職場で気持ちよく働くためのヒントをそれぞれ持ち帰ることができたのではないかと感じています。



【まとめ】 参加者の報告書からは、「物事の考え方や受け取り方が大事だと感じた」「分からないこと、不安なことは相談する」「自己チェックシートの評価を前向きに捉えて自信をつけたい」など前向きに仕事に取り組もうとする感想が多くあり、研修を通して“研修で得たヒントを職場でやってみよう！”という気持ちになることができたのではないかと感じます。今年度は残り2回の在職者研修会を開催する予定です。皆様からの意見を伺いながら会の内容を検討できればと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

～今後の人材育成メニューのお知らせ～

第3回在職者研修会

令和5年11月22日(水) 15:00～17:00

『仕事とキャリアを考える』 ←企業担当者にもご参加いただきたい内容です

*在職者向け交流会

働く大人のための『Caféスタイル』*

毎月第3土曜日 13:00～16:00

今後の開催予定は 9/9(土)、10/21日(土) です

